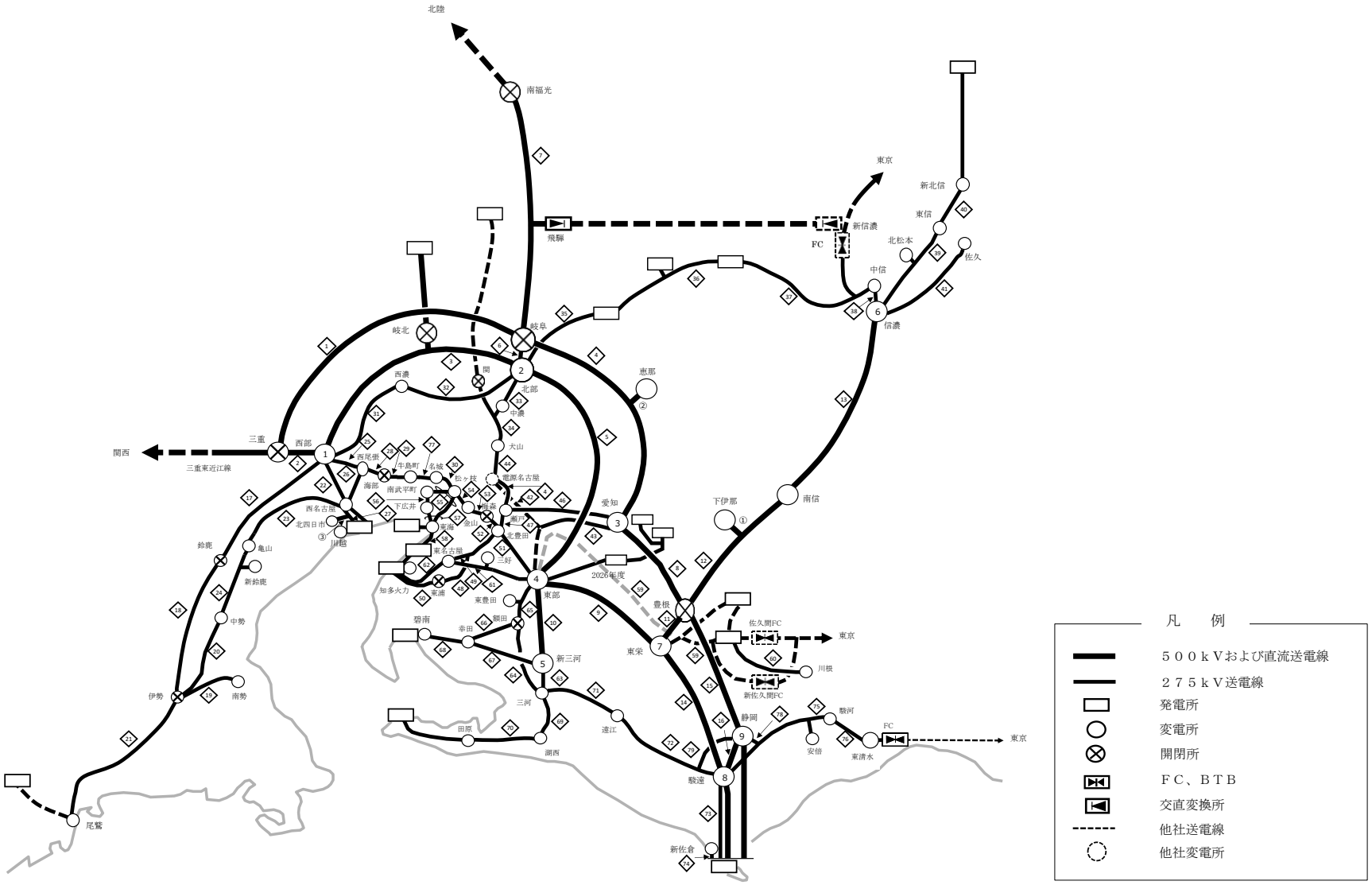
地内制約要因一覧
（中部電力パワーグリッド株式会社）

地内制約要因一覧（系統図）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社



地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
1	500	三岐幹線	三重⇒岐阜	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			岐阜⇒三重	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
2	500	三重連絡線	三重⇒西部	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			西部⇒三重	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
3	500	西部幹線	西部⇒北部	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			北部⇒西部	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
4	500	愛岐幹線	岐阜⇒愛知	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			愛知⇒岐阜	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
5	500	東部幹線	北部⇒東部	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			東部⇒北部	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
6	500	岐阜連絡線	岐阜⇒北部	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			北部⇒岐阜	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
7	500	越美幹線	岐阜⇒南福光	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			南福光⇒岐阜	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
8	500	豊根幹線	愛知⇒豊根	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			豊根⇒愛知	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
9	500	東栄幹線	東部⇒東栄	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			東栄⇒東部	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
10	500	新三河幹線	東部⇒新三河	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			新三河⇒東部	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
11	500	豊根連絡線	豊根⇒東栄	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			東栄⇒豊根	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
12	500	南信幹線	豊根⇒南信	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			南信⇒豊根	熱	DC法	無	無	－	493.6	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
13	500	信濃幹線	南信⇒信濃	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	Y法	無	無	3φ4LG(O-C)	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			信濃⇒南信	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
14	500	駿遠幹線	東栄⇒駿遠	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			駿遠⇒東栄	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
15	500	静岡幹線	豊根⇒静岡	熱	－	－	－	－	－	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
			静岡⇒豊根	熱	－	－	－	－	－		－
				同期	－	－	－	－	－		－
				電圧	－	－	－	－	－		－
				周波数上昇	－	－	－	－	－		－
				周波数低下	－	－	－	－	－		－
16	500	静岡連絡線	静岡⇒駿遠	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			駿遠⇒静岡	熱	DC法	無	無	－	378.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	フリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
17	275	鈴鹿幹線	西部⇒鈴鹿	熱	DC法	無	無	－	155.2～158.1	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			鈴鹿⇒西部	熱	DC法	無	無	－	155.2～158.1	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
18	275	伊勢幹線	鈴鹿⇒伊勢	熱	DC法	無	無	－	134.8～139.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			伊勢⇒鈴鹿	熱	DC法	無	無	－	134.8～139.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
19	275	伊勢南勢線	伊勢⇒南勢	熱	DC法	無	無	－	135.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			南勢⇒伊勢	熱	DC法	無	無	－	135.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
20	275	伊勢中勢線	伊勢⇒中勢	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			中勢⇒伊勢	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
21	275	尾鷲伊勢線	伊勢⇒尾鷲	熱	DC法	無	無	－	66.0～73.8	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			尾鷲⇒伊勢	熱	DC法	無	無	－	66.0～73.8	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
22	275	西部西名古屋線	西部⇒西名古屋	熱	DC法	無	無	－	252.5～262.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			西名古屋⇒西部	熱	DC法	無	無	－	252.5～262.0	夏季～冬季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
23	275	亀山西名古屋線	西名古屋⇒亀山	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			亀山⇒西名古屋	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
24	275	中勢亀山線	亀山⇒中勢	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			中勢⇒亀山	熱	DC法	無	無	－	105.6～118.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンシ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
25	275	西部西尾張線	西部⇒西尾張	熱	DC法	無	無	–	508.9～534.9	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			西尾張⇒西部	熱	DC法	無	無	–	508.9～534.9	夏季～冬季	○
				同期	–	電制	無	–	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
26	275	西名古屋西尾張線	西尾張⇒西名古屋	熱	DC法	無	無	–	467.5～498.8	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			西名古屋⇒西尾張	熱	DC法	無	無	–	467.5～498.8	夏季～冬季	○
				同期	–	電制	無	–	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
27	275	川越火力線	西名古屋⇒川越	熱	DC法	無	無	–	483.0～516.0	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			川越⇒西名古屋	熱	DC法	無	無	–	483.0～516.0	夏季～冬季	○
				同期	–	電制	無	–	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	–	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
28	275	西尾張海部線	西尾張⇒海部	熱	DC法	無	無	–	211.3～223.5	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			海部⇒西尾張	熱	DC法	無	無	–	211.3～223.5	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
29	275	海部牛島町線	海部⇒牛島町	熱	DC法	無	無	–	85.0	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			牛島町⇒海部	熱	DC法	無	無	–	85.0	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
30	275	名城松ヶ枝線	名城⇒松ヶ枝	熱	DC法	無	無	–	85.0	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			松ヶ枝⇒名城	熱	DC法	無	無	–	85.0	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
31	275	西濃西部線	西部⇒西濃	熱	DC法	無	無	–	252.5～262.0	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			西濃⇒西部	熱	DC法	無	無	–	252.5～262.0	夏季～冬季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
32	275	北部西濃線	北部⇒西濃	熱	DC法	無	無	–	217.1	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			西濃⇒北部	熱	DC法	無	無	–	217.1	夏季	○
				同期	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	–	無	無	–	–	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	–	無	無	–	–	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	–	無	無	–	–	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンシ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
33	275	北部中濃線	北部⇒中濃	熱	DC法	無	無	－	215.8	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			中濃⇒北部	熱	DC法	無	無	－	215.8	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
34	275	中濃犬山線	中濃⇒犬山	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			犬山⇒中濃	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
35	275	馬瀬北部線	北部⇒馬瀬川	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			馬瀬川⇒北部	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
36	275	高根馬瀬線	馬瀬川⇒高根	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			高根⇒馬瀬川	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
37	275	高根中信線	高根⇒中信	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			中信⇒高根	熱	DC法	無	無	－	64.3～68.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
38	275	信濃中信線	信濃⇒中信	熱	DC法	無	無	－	128.6～136.4	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			中信⇒信濃	熱	DC法	無	無	－	128.6～136.4	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
39	275	信濃東信線	信濃⇒東信	熱	DC法	無	無	－	243.0	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			東信⇒信濃	熱	DC法	無	無	－	243.0	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
40	275	東信新北信線	東信⇒新北信	熱	DC法	無	無	－	322.0～344.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			新北信⇒東信	熱	DC法	無	無	－	322.0～344.0	夏季～冬季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンシ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
41	275	佐久幹線	信濃⇒佐久	熱	DC法	無	無	－	122.1～127.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			佐久⇒信濃	熱	DC法	無	無	－	122.1～127.0	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
42	275	佐久間西幹里線	東部⇒電名	熱	DC法	無	無	－	181	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			電名⇒東部	熱	DC法	無	無	－	181	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
43	275	愛知分岐線	愛知⇒愛知分岐点	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			愛知分岐点⇒愛知	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
44	275	犬山電名線	電名⇒犬山	熱	DC法	無	無	－	181.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			犬山⇒電名	熱	DC法	無	無	－	181.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
45	275	電名瀬戸線	電名⇒瀬戸	熱	DC法	無	無	－	306.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			瀬戸⇒電名	熱	DC法	無	無	－	306.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
46	275	愛知瀬戸線	愛知⇒瀬戸	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			瀬戸⇒愛知	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
47	275	瀬戸北豊田線	瀬戸⇒北豊田	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			北豊田⇒瀬戸	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
48	275	東浦北豊田線	北豊田⇒東浦	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			東浦⇒北豊田	熱	DC法	無	無	－	407.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンシ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
49	275	東名古屋分岐線	東名古屋分岐点⇒東名古屋	熱	DC法	無	無	－	133.8	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			東名古屋⇒東名古屋分岐点	熱	DC法	無	無	－	133.8	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
50	275	知多火力東浦線	東浦⇒知多火力	熱	DC法	無	無	－	393.6	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			知多火力⇒東浦	熱	DC法	無	無	－	393.6	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
51	275	東部北豊田線	東部⇒北豊田	熱	DC法	無	無	－	312.2	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			北豊田⇒東部	熱	DC法	無	無	－	312.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
52	275	北豊田梅森線	北豊田⇒梅森	熱	DC法	無	無	－	213.6	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			梅森⇒北豊田	熱	DC法	無	無	－	213.6	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
53	275	梅森金山線	梅森⇒金山	熱	DC法	無	無	－	104.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			金山⇒梅森	熱	DC法	無	無	－	104.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
54	275	金山松ヶ枝線	金山⇒松ヶ枝	熱	DC法	無	無	－	104.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			松ヶ枝⇒金山	熱	DC法	無	無	－	104.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
55	275	南武平町松ヶ枝線／東海松ヶ枝線	南武平町/東海⇒松ヶ枝	熱	DC法	無	無	－	143.0	南武平町松ヶ枝線＋東海松ヶ枝線の3回線運用時の運用容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			松ヶ枝⇒南武平町/東海	熱	DC法	無	無	－	143.0	南武平町松ヶ枝線＋東海松ヶ枝線の3回線運用時の運用容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
56	275	下広井南武平町線	南武平町⇒下広井	熱	DC法	無	無	－	118.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			下広井⇒南武平町	熱	DC法	無	無	－	118.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
57	275	東海下広井線／東海松ヶ枝線	下広井／松ヶ枝⇒東海	熱	DC法	無	無	－	148.0	東海下広井線＋東海松ヶ枝線の3回線運用時の運用容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			東海⇒下広井／松ヶ枝	熱	DC法	無	無	－	148.0	東海下広井線＋東海松ヶ枝線の3回線運用時の運用容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
58	275	知多第二東海線	東海⇒知多第二	熱	DC法	無	無	－	135.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			知多第二⇒東海	熱	DC法	無	無	－	135.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
59	275	佐久間西幹山線	東部⇒佐久間	熱	DC法	負制	無	－	50.9～54.2	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			佐久間⇒東部	熱	DC法	電制	無	－	50.9～54.2	夏季～冬季	
				同期	Y法	無	無	3φ4LG(O-C)	34.0～94.0	FC潮流の向きを考慮した同期安定性による制約	○
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
60	275	佐久間川根線	佐久間⇒川根	熱	DC法	無	無	－	54.3	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			川根⇒佐久間	熱	DC法	無	無	－	54.3	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
61	275	東名古屋東部線【2025年10月　増強】	東部⇒東名古屋	熱	DC法	無	無	－	203.8 509.0	夏季 2025年10月増強　夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			東名古屋⇒東部	熱	DC法	電制	無	－	203.8 509.0	夏季 2025年10月増強　夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
62	275	知多火力線	東名古屋⇒知多火力	熱	DC法	無	無	－	221.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			知多火力⇒東名古屋	熱	DC法	無	無	－	221.7	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
63	275	三河線	新三河⇒三河	熱	DC法	電制	無	－	302.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			三河⇒新三河	熱	DC法	無	無	－	211.8～219.9	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
64	275	額田三河線	三河⇒額田	熱	DC法	無	無	－	170.9～177.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			額田⇒三河	熱	DC法	電制	無	－	244.2	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
65	275	東部額田線	東部⇒額田	熱	DC法	無	無	－	168.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			額田⇒東部	熱	DC法	電制	無	－	244.2	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
66	275	額田幸田線	額田⇒幸田	熱	DC法	無	無	－	336.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			幸田⇒額田	熱	DC法	電制	無	－	380.1	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
67	275	幸田新三河線	新三河⇒幸田	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			幸田⇒新三河	熱	DC法	電制	無	－	345.4	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
68	275	幸田碧南線	幸田⇒碧南	熱	DC法	無	無	－	380.1	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
			碧南⇒幸田	熱	DC法	電制	無	－	380.1	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	2回線停止に至る故障	－	安定化装置による負制で対応するため制約値を設けていない	
69	275	湖西三河線	三河⇒湖西	熱	DC法	無	無	－	252.5～258.7	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			湖西⇒三河	熱	DC法	無	無	－	252.5～258.7	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
70	275	田原湖西線	湖西⇒田原	熱	DC法	無	無	－	258.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			田原⇒湖西	熱	DC法	無	無	－	258.7	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
71	275	三河遠江線	三河⇒遠江	熱	DC法	無	無	－	76.6～85.6	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			遠江⇒三河	熱	DC法	無	無	－	76.6～85.6	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
72	275	遠江駿遠線	駿遠⇒遠江	熱	DC法	無	無	－	76.6～85.6	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			遠江⇒駿遠	熱	DC法	無	無	－	76.6～85.6	夏季～冬季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無［万kW］	想定故障	概算値［万kW］	備考	決定要因
73	275	浜岡駿遠線	駿遠 ⇒浜岡	熱	DC法	無	無	－	138.1	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			浜岡 ⇒駿遠	熱	DC法	無	無	－	138.1	夏季（保護リレー）	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
74	275	浜岡新佐倉線	浜岡 ⇒新佐倉	熱	DC法	無	無	－	35.1	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			新佐倉 ⇒浜岡	熱	DC法	無	無	－	35.1	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
75	275	駿遠駿河線	駿遠 ⇒駿河	熱	DC法	無	無	－	181.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			駿河 ⇒駿遠	熱	DC法	無	無	－	181.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
76	275	駿河東清水線	駿河 ⇒東清水	熱	DC法	無	無	－	122.1	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			東清水 ⇒駿河	熱	DC法	無	無	－	122.1	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
77	275	牛島町名城線	牛島町 ⇒名城	熱	DC法	無	無	－	85.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			名城 ⇒牛島町	熱	DC法	無	無	－	85.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
78	275	静岡東分岐線	静岡 ⇒静岡東分岐点	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			静岡東分岐点 ⇒静岡	熱	DC法	無	無	－	271.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
79	275	静岡西分岐線	静岡 ⇒静岡西分岐点	熱	DC法	無	無	－	203.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			静岡西分岐点 ⇒静岡	熱	DC法	無	無	－	203.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	ルート断時の周波数低下が限定的なため省略	
①	500	下伊那分岐線 【2027年10月　新設】	下伊那分岐点 ⇒下伊那	熱	DC法	無	無	－	164.5	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	
			下伊那 ⇒下伊那分岐点	熱	DC法	無	無	－	164.5	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	

地内制約要因一覧（送電線）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無［万kW］	想定故障	概算値［万kW］	備考	決定要因
②	500	恵那分岐線 【2027年10月　新設】	恵那分岐点 ⇒恵那	熱	DC法	電制	無	－	164.5	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	
			恵那 ⇒恵那分岐点	熱	DC法	電制	無	－	164.5	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	
③	275	北四日市分岐線 【2029年8月　新設】	北四日市分岐点 ⇒北四日市	熱	DC法	無	無	－	119.4	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	
			北四日市 ⇒北四日市分岐点	熱	DC法	無	無	－	119.4	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	－	
				電圧	－	無	無	－	－	－	
				周波数上昇	系統特性定数	電制	無	－	－	－	
				周波数低下	系統特性定数	負制	無	－	－	－	

地内制約要因一覧（フェンス）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	フェンス名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無［万kW］	想定故障	概算値［万kW］	備考	決定要因
1	500	1,3（三岐幹線＋西部幹線）	東向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			西向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
2	500	4,5（愛岐幹線＋東部幹線）	東向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			西向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
3	500	8,9（豊根幹線＋東栄幹線）	東向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			西向き	熱	DC法	無	無	－	556.8	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
4	500	14,15（駿遠幹線＋静岡幹線）	東向き	熱	DC法	無	無	－	658.2	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
			西向き	熱	DC法	無	無	－	658.2	健全ルートの2回線設備容量	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	
				周波数低下	－	無	－	－	－	ルート断時に分離系統が生じないため考慮しない	

地内制約要因一覧（変電所）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
1	500/275	西部変 1･2･3B	順方向	熱	DC法	負制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止時の周波数上昇が限定的なため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止時に分離系統が維持できないため省略	
			逆方向	熱	DC法	電制	無	変圧器1台となる故障	285.0	夏季	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止時の周波数低下が限定的なため省略	
2	500/275	北部変 2･3･4B	順方向	熱	DC法	負制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	無	無	変圧器1台となる故障	142.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
3	500/275	愛知変 2･3･4B	順方向	熱	DC法	無	無	送電線ルート断	101.3	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	電制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
4	500/275	東部変 1･2･3･4B	順方向	熱	DC法	無	無	送電線ルート断	228.4	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	電制	無	変圧器2台となる故障	285.0	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
5	500/275	新三河変 2･3･4B 【2033年1月　増設計画あり】	順方向	熱	DC法	無	無	送電線ルート断	87.5 384.7	夏季 2033年1月　2B増設	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	電制	無	変圧器1台となる故障	285.0 384.7	夏季 2033年1月　2B増設	○
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
6	500/275	信濃変 1･2･3B	順方向	熱	DC法	負制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	電制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	
				同期	－	電制	無	－	－	安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	L法	無	無	送電線ルート断	215.0	送電線ルート断時に生じる過電圧による制約	○
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
7	500/275	東栄変 1･2B 【2027年3月　増設・増強計画あり】	順方向	熱	DC法	無	無	－	76 213.7	夏季 2027年3月　2B増設、1B増強　夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	1バンクのため対象外 ⇒制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	無	無	－	76 213.7	夏季 2027年3月　2B増設、1B増強　夏季	○
				同期	－	無 ⇒電制	無	－	－	1バンクのため対象外 ⇒安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
8	500/275	駿遠変 1･3･4B	順方向	熱	DC法	負制	無	変圧器1台となる故障	256.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	無	無	変圧器1台となる故障	142.5	夏季	○
				同期	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	

地内制約要因一覧（変電所）

会社名：　　中部電力パワーグリッド株式会社

※算定時における前提条件の差異等により、系統情報サービスの公表値と異なる場合があります。

No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	プリンジ有無[万kW]	想定故障	概算値[万kW]	備考	決定要因
9	500/275	静岡変 1・2B 【2027年3月　増設・増強計画あり】	順方向	熱	DC法	無	無	他電気所の変圧器故障	81.9 142.5	夏季 2022年3月　2B増設、1B増強	○
				同期	－	無	無	－	－	1バンクのため対象外 ⇒制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
			逆方向	熱	DC法	無	無	送電線ルート断	81.9 142.5	夏季 2022年3月　2B増設、1B増強	○
				同期	－	無 ⇒電制	無	－	－	1バンクのため対象外 ⇒安定化装置による電制で対応するため制約値を設けていない	
				電圧	－	無	無	－	－	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	
				周波数低下	－	無	無	－	－	変圧器全台停止は極稀頻度のため考慮しない	